

「ふるさとづくり賞」決定しました

敷戸校区ふるさとづくり運動推進協議会主催の「ふるさとづくり賞」が決定しました。長年にわたり校区のふるさとづくりにご尽力いただいている皆さんです。これからもよろしく願います。

栢田 邦雄 様 (ボランティア活動)

二宮 正和 様 (生きがいのあるまちづくり活動)

児玉 真理子 様 (健やかなまちづくり活動)

岡本 五十六 様 (美しいまちづくり活動)

岡本 ツユ子 様 (美しいまちづくり活動)

村瀬 文敏 様 (ボランティア活動)

星和台いきいきサロン「輝き」 (ボランティア活動)

*今年度の表彰は敷戸校区公民館二階大ホールにて、十月四日(日)十三時より行います。

おやつ作りと絵本とあそぶ会

時 毎月最終火曜日 10時
所 敷戸校区公民館別館
子どもと一緒に保護者も
ゆっくりゆったり過ごせる
ひとときです。

「どんぐり文庫」

毎週月、水、金に公民館2階
の児童室を児童図書を楽しむ
場所として開放しています。
たくさんの絵本、児童書が待
っています。
ご利用ください。

里の暮らし(16)

地面に散るサルスベリの花びら、夜鳴く虫の声によりやく秋がそこまで来た感じがする。とにかく今年の夏は猛暑にコロナ禍が重なり、高齢者の多いこの集落では、昼間、道行く人が途絶え、人にも畑の作物にも厳しい季節となった。

気象庁の観測によると、この地域では6、7月の降水量が2か月間で900ミリと平年の半年分近くに達した。一転し8月には最高気温の平均が34.3度で、平年値30.8度と比べ3.5度も高く、降水量は、16ミリで平年値223ミリの約7%と極端に少なかった。

こうした長雨と猛暑で作物は成長不良に陥り、雑草は伸び放題、トマト、サヤインゲンにカメムシ被害、サトイモに日照りの被害があり残念だ。一方、ナス、スイカは何とか天候不良に耐え収穫があり、まさに百姓仕事は天に祈るばかりだ。

私の寝泊まりしている古い家は、夏の間エアコン無しで戸を開け放ち、夜は蚊帳を吊って寝る暮らしで、月明かりの縁側は、涼しい夜風が心地良い。日中は、暑さを避けて木陰のハンモックに横たわり昼寝をする。この夏は湿度が低く風のある日が多かったためか、曇の上より快適だ。見上げる空は、真夏には珍しく雲が無く碧い空の日が続いた。太平洋高気圧の上空にチベット高気圧が重なった気象現象だと言う。

お知らせ①

今年度の子どもクッキング教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

お知らせ②

今年度の子育てサロンつくしんぼは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。